

Mizuho Daily Market Report

2023/9/21

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	148.14	148.34	+0.48	+0.88
EUR	1.0690	1.0661	▲0.0018	▲0.0069
AUD	0.6461	0.6448	▲0.0006	+0.0026
SGD	1.3651	1.3653	+0.0005	+0.0042
CNY	7.2993	7.2863	▲0.0110	+0.0146
MYR	4.6893	4.6863	▲0.0102	+0.0053
THB	36.15	36.06	+0.11	+0.30
IDR	15383	15384	+4	+14
PHP	56.80	56.82	+0.05	+0.09
INR	83.17	83.08	▲0.19	+0.10

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.407%	+4.8 bp	+15.9 bp
日本(10年)	0.727%	+0.9 bp	+1.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.702%	▲3.6 bp	+5.1 bp
オーストラリア(5年)	3.977%	+5.4 bp	+8.5 bp
シンガポール(5年)	3.273%	+3.6 bp	+9.8 bp
中国(5年)	2.519%	+0.3 bp	+5.9 bp
マレーシア(5年)	3.696%	+3.6 bp	+6.1 bp
タイ(5年)	2.792%	+3.1 bp	▲0.9 bp
インドネシア(5年)	6.394%	▲1.8 bp	+7.0 bp
フィリピン(5年)	6.088%	▲0.1 bp	▲3.3 bp
インド(5年)	7.153%	▲1.0 bp	▲0.4 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,440.88	▲0.2%	▲0.4%
N225(日本)	33,023.78	▲0.7%	+1.0%
STOXX50(ユーロ圏)	4,275.98	+0.8%	+1.2%
ASX(オーストラリア)	4,197.78	+1.0%	+2.4%
FTSE(シンガポール)	3,242.00	+0.0%	+0.7%
SSEC(中国)	3,108.57	▲0.5%	▲0.5%
KLSE(マレーシア)	1,451.56	▲0.4%	▲0.1%
SETI(タイ)	1,507.90	▲1.0%	▲1.8%
JKSE(インドネシア)	7,011.681	+0.4%	+1.1%
PSE(フィリピン)	6,041.04	▲0.1%	▲1.8%
SENSEX(インド)	66,800.84	▲1.2%	▲1.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	288.48	▲0.5%	+0.3%
金	1,930.30	▲0.1%	+1.2%
原油(WTI)	90.28	▲1.0%	+2.0%
銅	8,281.50	+0.6%	▲1.4%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.50	-	149.50
EUR/USD	1.0600	-	1.0750
AUD/USD	0.6340	-	0.6550
USD/SGD	1.3600	-	1.3720
USD/CNY	7.2800	-	7.3200
USD/MYR	4.6850	-	4.7040
USD/THB	35.85	-	36.50
USD/IDR	15360	-	15400
USD/PHP	56.56	-	57.25
USD/INR	82.70	-	83.45

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間早朝にエルン米財務長官から本邦介入を容認するような発言があった後、神田財務官から「過度な変動は好ましくない」「米財務省と緊密に連携」などの発言が伝わったが、市場の反応は限定的となり、アジア時間のドル円は147円台後半でオープン。FOMCを前に動意に乏しい推移が続いたが、終盤にかけて小幅上昇し海外へ渡った。
アジア通貨は海外時間にFOMCの発表を控える中全般に様子見ムードが強まる展開。ただし、THBについては足元の原油価格の上昇が与える悪影響が意識される中、昨年11月以来の安値水準まで下落する展開となった。

海外時間のドル円は147円台後半でNYオープン。NY午前中は米金利が下げ幅を拡大する動きを受け上値の重い推移となると、NY時間午後になり147円台半ばまで続落。その後、注目の9月FOMCの結果が発表され、現状の政策金利据え置きとの内容となる一方、金利見通しでは「FRBメンバーの12人が年内もう一度の利上げを想定」との見方や、2024年度の政策金利が上方修正された内容等からドルが買われ、148円台を回復。続いて行われたパウエルFRB議長の記者会見では特段大きなサプライズ発言は買わたらなかつたものの、「適切ならさらに金利を引き上げる用意がある」との認識を示した事を受け、買いが強まる。終盤にかけて年初来高値を更新後、148円台前半でクロス。

【金利】

金利市場は長期ゾーンではほぼハラルで上昇。中期ゾーンは金利カーブがフラット化。FOMCでは、政策金利については5.25%-5.50%での据え置きとなり、同時に発表された、FEDメンバーによる予想において、ドット図の予想が上昇していたことや、パウエルFRB議長の会見の内容にも、今後の利上げの可能性を示唆するものがあったことから、全体的に「据え置きながら効派の内容」ととらえられ、発表後金利は上昇。10年債利回りは、引けで高値を付け、4.40%台に乗せた。

【予想】

本日のドル円相場は底堅い推移を予想。注目されたFOMCにおいては政策金利は据え置きとなったものの、年内の追加利上げが示唆された上、ドットチャートにおいては24年の金利見通しが上方修正されており効派と受け止められる内容となった。円安けん制発言への警戒感も意識されるものの、基本的にはFOMC後の流れを引継ぎドル買い優勢の展開を予想する。

【本日の予定】

(日本) 流動性供給入札
(アジア) 8月 中国 SWIFT グローバル支払 CNY
(アジア) インドネシア 金融政策会合
(アジア) フィリピン 金融政策会合
(欧州) 8月 英 公共部門純借入所要額 / 中央政府純借入所要額
(欧州) 8月 英 公共部門純借入額 / 公的部門純借入額
(欧州) 9月 ユーロ圏 消費者信頼感(速)
(欧州) 9月 英 英国産業連盟
(欧州) 英 金融政策会合
(米国) 2Q 経常収支(確)
(米国) 8月 中古住宅販売件数 / 先行指数
(米国) 9月 フィラデルフィア連銀景況
(米国) TIPS入札(10Y)
(米国) 新規失業保険申請件数